

# 2007年 鳥取市政 10大ニュース

鳥取市の平成19年はどんな年だったでしょうか？

昨年12月11日、この年にあったさまざまな出来事の中から、自治会や経済団体など各分野の代表者、マスコミ関係者、市議会議長、市長など11人が市政10大ニュースを選挙しました。

■問い合わせ先 市役所本庁舎秘書課広報室 ☎(0857)20-3159

## 1位 家庭ごみの有料指定袋制度スタート 早くもごみ減量化に成果

ごみ減量化を推進するため、10月1日から、家庭ごみの有料指定袋制度（可燃ごみ・プラスチック）がスタート。10月1日～11月24日までの状況は、前年に比べ可燃ごみ21.3%減、プラスチック11.6%減となり、ごみ減量化の成果が現れる。



## 6位 鳥取市中心市街地活性化基本計画が 山陰初の内閣総理大臣認定

11月30日に内閣総理大臣から山陰地方で第1号となる認定を受けた中心市街地活性化基本計画には54事業が盛り込まれ、歩行者通行量の増加など、明確な目標も設定されている。この認定が弾みとなり、計画に基づいた中心市街地の再生が進められる。



## 2位 学校給食を原因とする集団食中毒が発生

第二学校給食センターが1月26日に調理した給食が原因で、ノロウイルスによる食中毒が発生し、発病者864人のほか、多数の二次感染者を出す。市は損害賠償を行うとともに、危機管理体制の構築やノロウイルス対策を強化したほか、新たに真空冷却器を設置するなど、学校給食の衛生管理の改善に努める。



## 7位 「鳥取市教育センター」開設 11月末現在で延べ4,091人が利用

学校不適応や発達障害のある児童・生徒への自立支援や教育に関する相談、教職員への研修などを行う拠点として、寺町に「鳥取市教育センター」が4月に開設される。



## 3位 2009鳥取・因幡の祭典の事業計画が決まり、祭典の成功に向けた事業展開が本格化

市内外から多くの応募があった「2009鳥取・因幡の祭典」のキャッチフレーズやシンボルマーク、キャラクターが、1月24日に行われた選考委員会で決定。また、8月3日には、事業計画も策定され、祭典の成功に向けた本格的な事業展開が始まる。キャラクターのカニラ・ナシータの名コンビも祭典のPRに大活躍！



## 8位 世界陸上ジャマイカ選手団が鳥取市で 事前キャンプ

8月11日～21日、世界記録保持者のアサファ・パウエル選手をはじめ、IAAF世界陸上大阪大会に出場するジャマイカ選手団53人が鳥取市で事前キャンプを実施するとともに、市民との交流を行った。女子100mでは、ペロニカ・キャンベル選手が金メダルを獲得。



ペロニカ・キャンベル選手

## 4位 市職員不祥事相次ぐ

飲酒運転の撲滅が叫ばれる中、市職員が10月18日、飲酒運転で事故を起こし逮捕されたほか、公然わいせつや迷惑行為で逮捕されるなど、不祥事が相次いだ。市職員の法令遵守の一層の徹底、モラルの向上に取り組む。



## 9位 定住促進・UJIターンの取り組みで 25世帯53人が鳥取市民へ

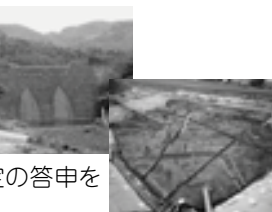
昨年9月の「定住促進・Uターン相談支援窓口」の設置以来、「定住者認定証交付」、「UJIターン住宅支援事業」、「お試し定住体験事業」、「UJIターン者受入自治会等支援事業」などの取り組みにより、11月末現在、25世帯53人のみなさんが鳥取市へ定住される。



認定定住者第7号の 赤野健一郎さん・志子さん

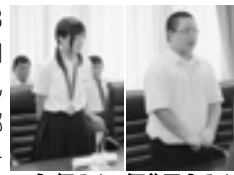
## 5位 美敷水源地が重要文化財に指定 国の文化審議会が青谷上寺地遺跡の 国史跡指定を答申

鳥取市水道局旧美敷水源地水道施設などが、6月18日に国の重要文化財に指定される。近代化遺産としては県内初。また、「地下の弥生博物館」と称されている青谷上寺地遺跡が、11月16日に国の文化審議会で国史跡の指定の答申を受ける。



## 10位 相撲と弓道で県勢初の 全国中学生チャンピオンが誕生

第37回全国中学校相撲選手権大会が、8月18日から19日まで青森県で開催され、個人の部で鳥取西中学校3年生の網谷勇志くんが初優勝した。また、8月18日から東京都で行われた第4回全国中学生弓道大会の女子個人の部で桜ヶ丘中学校3年生の田中緑さんも見事優勝。鳥取市から2人の全国中学生チャンピオン誕生は快挙。



田中緑さん 網谷勇志さん

# ふるさと鳥取で暮らそう！



「田舎暮らし」や「UJターン」(注)は、都会に暮らす人にとってますます魅力的なライフスタイルになってきています。

人口の増加は、地域経済に潤いを与え、地域コミュニティに大きな活力をもたらします。

本市は、平成18年9月1日に「鳥取市定住促進・Uターン相談支援窓口」を開設しました。UJターンを希望する人に対して支援制度や住まい、仕事、暮らしの情報を幅広く提供し、各種相談を受け付けています。

- (注) ●Uターン：進学・就職などにより転出した人が出身地にもどること  
 ●Jターン：進学・就職などにより転出した人が出身地の近隣地域にもどること  
 ●Iターン：出身地とは別の地域に移り住むこと

## 市外で暮らしている人を紹介ください！

紹介いただいた人には、市長から鳥取暮らしを呼びかける「市長の手紙」をお送りするとともに、パンフレットで本市の魅力や定住支援についてお知らせします。

ご家族・ご親類・ご友人などを紹介ください。

※情報をお寄せいただいた人先着100人の中から抽選で10人に砂丘ラッキョウをプレゼントします！

## 空き家提供者を支援します！

鳥取へのUJターンを希望する人の住まいを確保するため、UJターン者を積極的に受け入れていただける自治会や空き家提供者に、支援金を交付する制度を創設しました。

**交付対象** 市内全域(市街化区域を除く)の①自治会 ②空き家提供者

**交付金額** 上記交付対象者に定住1世帯ごとに3万円

**実施期間** 平成22年3月まで

## ■問い合わせ先

鳥取市定住促進・Uターン相談支援窓口(市役所本庁舎地域振興室内)

☎フリーダイヤル 0120-567-464

☎(0857) 21-1594

## 若い世代が多くなっています

窓口開設から1年3カ月で25

支援窓口開設とあわせて、UJターンや定住に関する情報を掲載した専用ホームページ(本市公式ホームページ内)を公開していますが、平成19年11月末の1年3カ月間で、アクセス数が2万件を突破しました。

また、北海道から鹿児島まで34都道府県に在住のみなさんから延べ732件の問い合わせをいただき、190人の具体的な相談を受け、支援を行いました。相談は、空き家、就職、補助制度に関するものが多くなっています。

## 問い合わせ・相談が増えています

## Uターン者を紹介！

いしぐるともき 石黒友規さん・さゆりさん(白兔)



子どもを育てる環境を考えたときに、あわただしい都会よりも鳥取のゆったりとした雰囲気の方がいいと思

い、神奈川県から移り住むことを決めました。定住して半年がたちます。夏はやはり海が近くて楽しいですね。町内の運動会や地区のスポーツ大会に声をかけていただいで参加するなど、地域活動にも積極的に関わりを持っています。

世代別定住者世帯数 (平成18年9月~平成19年11月)

世代	定住者世帯数
20代	8世帯
30代	7世帯
40代	1世帯
50代	3世帯
60代	4世帯
70代	2世帯
合計	25世帯

世帯53人が支援窓口を通じて本市に定住されました。20代・30代の定住者が多くなっています。